

新年のご挨拶

黒瀬谷地区自治振興会 会長 江本 茂雄
黒瀬谷地区ふるさとづくり推進協議会 会長 村杉 正夫



地区住民の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年は一昨年と同様に

新型コロナウイルスが蔓延し、年間行事が計画どおり実施が出来ず、最悪の1年間でしたが、幸いにも1月の大雪以外、当地区では大きな災害がなかった事がせめてもの救いだと思っております。

尚、当地区で要望が多い生活道路の県道改修工事は、新杉地区の江尻光男さん宅下方までを1区間として本年中に完成します。二次工事として、旧檜尾小学校までを継続工事として要望中です。また長年要望していた小長谷台地の歩道横の吹付け工事は、昨年10月に完成し、今年4月に開校する新八尾中学校への通路として安心して通学出来るかと喜んでおります。尚、黒瀬谷地区活性化プランを推進する中山間地域チャレンジ支援事業につきましては、最終3年目の年でありますので、今まで以上に協力をお願いいたします。そして平成2年より新築して長い間慣れ親しんだ黒瀬谷保育所が、本年4月から休所となります。休所期間が長期間続くとすれば、保育所の用途変更も視野に入れておくことも肝要だと思っております。本年は新型コロナウイルスが終息し、元の元気な地区になれるように祈願し、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年明けましておめでとうございます。黒瀬谷地区の皆様にご挨拶申し上げます。黒瀬谷地区の皆様にご挨拶申し上げます。

昨年度は令和2年度から

新型コロナウイルスが終息しないまま、新たな変異ウイルスが次々と蔓延しました。夏には念願であった東京オリンピックが開催されるも、翌月の8月には過去最多となる感染者数の増加に伴い、富山県のロードマップも緊急事態宣言レベルに位置するステージ3が適用となりました。県内でも新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、富山県等の行政側から活動自粛制限が求められ、ガイドラインについても厳しい制限が設けられました。

前年度は前前年度に比べると、県内の感染状況も最も恐ろしい状況でしたが、ガイドラインに準じて行えるコミュニケーションの醸成を目的とした事業を幾つか開催することができました。しかしながら令和4年になつた現在も未だに大人数を伴ったイベント開催は難しく、黒瀬谷地区ふるさとづくり推進協議会としての活動も困難を極めております。今の地域の現状を打破すべく、昨年同様に環境に適した地域活性化向上の取り組みを諦めずに努力してまいりたいと考えております。本年も皆様方の一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和4年1月 新春早々

江本 茂雄

令和4年1月 新春早々

村杉 正夫



12月12日(日)交流センター喜楽里館にて「菜菜これ市」が黒瀬谷交流センター運営委員会主催で開催されました。当日はたくさんの方が会場に集まり、名人手打ちの新そばを堪能しようと、受け渡しカウンターには列ができていました。今回のみ温かい蕎麦も販売されましたが、黒瀬谷名物のざる蕎麦は寒いこの時期でも好評で、温かい蕎麦よりもざる蕎麦を注文している方が多かったのが印象的です。また不動の人気を誇る「金時おこわ」を求めてたくさんの方々がチケットを手にして販売カウンターで並んでおられました。その他にも地元や大長谷、福祉施設で作られた食材、惣菜、工芸品なども販売されており、会場では始終賑わいを見せていました。また、先行販売となった「ボンクレールN36」がJAあおばさんより販売されました。途中で商品の品切れが発生するなど、今年も好評の売れ行きとなりました。尚、今年度の菜菜これ市はこの日で終了となり、次回の開催は200回目を迎える令和4年度からとなります。4月までお蕎麦や金時おこわが食べられなくなるのは寂しいですが、次回の開催も楽しみですね。

Soba
saisaikoreichi

令和4年もぜひ来てくたはれ!

Saisaikoreichi shin soba matsuri